

講義名称	卒業研究 I	担当教員名	高山 有紀
科目群	必修 (REQ)		
科目区分等	卒業研究	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	REQ211

授業のキーワード	日本史、社会と教育、日本文化
授業の概要	日本における教育の歴史を概観し、社会が教育にどのような影響を与えてきたのかを学びます。文化についても取り上げ、子どもを取り巻くさまざまな環境の変化について学びます。
期待される学習成果 (目標)	1、教育の歴史を知ることで、これまでの日本の社会について理解を深めることができます。 2、子どもの遊びなどの身近な文化に関心を持ち、視野を広げることができます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の進め方について説明します。
2	教育問題の実情	現在話題になっているいくつかの教育問題について説明します。
3	教育の歴史①	子どもと家庭教育の歴史について学びます。
4	教育の歴史②	子どもと家庭教育の歴史について学びます。
5	教育の歴史③	子どもと学校教育の歴史について学びます。
6	教育の歴史④	子どもと学校教育の歴史について学びます。
7	教育の歴史⑤	子どもと学校教育の歴史について学びます。
8	中間のまとめ	前講までの学びを総括します。
9	ゼミ論文の準備①	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
10	ゼミ論文の準備②	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
11	ゼミ論文の準備③	各自ゼミ論文の構想を練ります。個別相談も行います。
12	ゼミ論文の準備④	各自ゼミ論文の構想を発表し、意見交換します。
13	ゼミ論文の準備⑤	各自ゼミ論文の構想を発表し、意見交換します。
14	ゼミ論文の準備⑥	論文の書き方について説明します。
15	まとめ	本講での学びを総括します。夏休み中に行うべきことを示し、確認します。

定 期 試 験	ゼミ論文の構想と作業計画をまとめて提出してもらいます。
授 業 時 間 外 学 習	授業で扱う内容について、下調べの課題を出すことがあります。また、各自がゼミ論のテーマを決定する過程で、参考文献を探したり、本の所在確認をしてもらうよう指導することがあります。
評 価 方 法	授業への取り組み (30パーセント)、課題に対する評価 (70パーセント) により総合的に評価します。
使用する教科書 (必ず購入してください)	
参 考 文 献	佐藤環『日本の教育史』(現場と結ぶ教職シリーズ2) あいり出版 小山静子『子どもたちの近代—学校教育と家庭教育—』吉川弘文館 辻本雅史・沖田行司編『社会教育史』(新体系日本史16) 山川出版社